

# 第4章 札幌市の指標種

札幌市では、札幌らしい自然環境に生息・生育する代表的な動植物を「指標種」として選定しました。指標種は、例えばきれいな川にしかすみことのできない種や生息・生育に森林環境が必要といった種など、ある環境がないと生息・生育できない動植物です。このため、指標種の生息・生育状況を調査することで、その指標種が必要とする自然環境が守られているかどうかを知ることができます。

札幌市では、札幌市域の自然環境の変化を把握するため、指標種の生息・生育状況を継続的に調査していきます。指標種のうち、特にわかりやすく、見つけやすい種については、市民参加型で調査を行うことで、広く市内全域の生息・生育情報を集めるとともに、身近な自然への関心と理解を深め、保全に対する意識向上を図ります。

## ◎指標種：札幌市内で見られる生態系を代表し、その環境の指標となる動植物

### 選定の観点

- ・札幌市内で見られる生態系を代表する種であること
- ・生息・生育環境への依存度が強く、環境変化の影響を受けやすい種であること
- ・生息・生育状況が比較的容易に確認できる種であること
- ・基本的な生活史がわかっている種であること
- ・在来種であること
- ・市民に比較的なじみのある種であること

### 生態系

森林、草地、市街地、河川、湿地、田

## 札幌市の指標種

凡例



森林



草地



市街地



河川



湿地



田

### ヒグマ

日本に生息する陸上最大の哺乳類。



### フクロウ

夜行性で「ゴロスケホッホー」の鳴き声の特徴



### クマゲラ

キツキの仲間最大。黒い体に頭の赤い模様が目立つ。



### エゾハルゼミ

成虫は5月中旬～7月に見られる。「ミョーキン」と鳴く。



### コエゾゼミ

「ジーー」と単調な鳴き声のゼミ。エゾゼミ、アカエゾゼミも似ているので注意。



### フクジュソウ

雪解け後に大きな黄色い花を咲かせる。明るい林に生える。



### キツリフネ

舟をつり下げたような形の花が特徴。湿った林に生える。



### オオウバユリ

高さ1.5m程にもなる多年草。湿った林に生える。



### エンレイソウ

3枚の葉の上に3枚の紫色のがく片をもつ花を咲かせる。明るい林に生える。



### オオジシギ

初夏に草地等で見られる。繁殖期には激しい羽音を立て求愛行動をする。



### カッコウ

「カッコー」の鳴き声の特徴の札幌の鳥。初夏～夏に農耕地で見られる。



### ハネナガキリギリス

8～10月に見られる。丈の高い草を好み、「チョン、ギース」と鳴く。





### キアゲハ

セリの仲間を主な食草とする。日当たりのよい草地を好む。



### モンキチョウ

日当たりのよい草地を好み、幼虫の食草はマメ科である。幼虫で越冬する。



### クサフジ

長いつるを出して広がり、初夏～夏に紫色の花を咲かせる。



### ネジバナ

桃色の小さな花が、花茎にらせん状につくことが特徴。



### オシドリ

雄は非常に特徴的な色合いをしている。夏に見られる。



### アカゲラ

後頭部と下腹の赤い模様が特徴。昆虫や木の種・実を食べる。



### アブラゼミ

全体的に茶～赤味を帯びた色をしている。7～8月に見られる。



### オドリコソウ

5～6月に白～紅色の花を咲かせる。笠をかぶった踊り子のような花の形が特徴。



### ハナカジカ

(上流) 大きな石のある川底に生息する。昆虫や小魚を食べる肉食性。



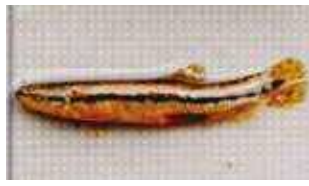
### アヤマス

(上流) 体全体にある白い斑点が特徴。水温のやや低い河川に生息する。



### エゾホトケドジョウ

(中流) 水草の茂る流れの緩い川に生息する。雄は頭から尾にかけて黒い線がある。



### カワセミ

(中・上流) 光沢のあるきれいな青色の体がある。水辺の土壁に横穴を掘って巣を作る。



### スナヤツメ

(下流) 砂泥のある川底に生息し、夜間に活動する。成魚は餌を食べない。



### モクズガニ

(下流) はさみの部分に長い毛が生える。産卵は海で行う。



### シロザケ

(移動性) 産卵期に川をのぼるころ、赤、黄、緑のまだら模様になる体色が特徴的。



### サクラマス

(移動性) 河川の淵や岩陰のくぼみなどに生息する。産卵期には桜色の体色が目立つ。



### ニホンカワトンボ

6～8月に見られる。雄の翅は橙色又は透明色で、雌の翅は透明色である。



### ニホンザリガニ

水温が低く、きれいな小川に生息する。巣穴や石の下に潜む。



### エゾアカガエル

繁殖期の3～5月によく見られる。体長5cm前後で、茶色の体をしている。



### シオカラトンボ

雄の腹部は青白色で先端が黒色、雌は黄土色のトンボ。流れのない水域に生息する。



### サワギキョウ

夏から秋にかけて紫色の花を咲かせる。山野や草原の湿地に生える。



### ガマ

夏から秋にソーセージに似た穂をつける。高さは1.5～2mになる。



### ミズバショウ

春から初夏、葉より先に白色の仏炎苞(花びらに見える部分)を開き、群生する。



### ミズアオイ

秋に葵に似た青色の花を咲かせる。農薬をあまり使用しない水田に生育する。

